

やくわえ

第27号

今期活動方針

会長 小泉朋昭

我々神道青年の意気と情熱とを傾注し、先輩諸兄のご指導ご協力を得て開催された本会創立三十周年事業も大いなる成果を挙げて終了したが、これを契機に神青会先輩の築かれた道を基盤に会員一人一人の心新たなる積極的な行動を喚起し、本会の一層の飛躍を期さなければならぬ。しかしながら現今の我が国情をみる時、経済中心主義のもたらしたひずみ・偏向教育による道義の廃退等混迷を続け、決して樂觀は許されない情勢にある。これは日本国民の民族的自覚の欠如にあり、今こそ我々は神道青年として日本民族精神と伝統護持のため国民精神昂揚運動をより広く訴え推進してゆくべき時が到来しているのである。そのためにまず会員同志がその使命感を自覚した青年として意欲的に知り合い、各部の活動に直接参加し接点をより多くすることにより一本の絆で結ばれ、一致協力して諸

問題に対処しなければならぬ。更に常に自己研鑽に励むことにより、自身の足場を固め、会員相互の信頼を高め連帯感を強くし、その自信と経験を神明奉仕に役立てることこそ本会の意とする研修なのである。その上にとって青年神職こそが真向から立ち向かわねばならない青少年教化活動として、若い世代に歴史と伝統を正しく受け継がせ、今取るべきもの捨てるべきものについての円熟した眼を養なわせることにより、氏子教化へ、また氏子青年会組織作りへと結びつけていこうではありませんか。

また継続事業の国旗掲揚推進運動・靖国神社国家護持問題・北方領土早期返還運動等、神青協また友好諸団体との連携を密にし、社庁の御指導を得て一丸となって民族精神回復のため、会員各位の積極的参加を望んでやまない。

昭和五十六年度定時総会開催

会長に小泉朋昭君

副会長に 内田英雄君
押見守康君

四月十二日、神社庁に於いて昭和五十五年度東京都神道青年会定時総会が開催され、川合会長挨拶に続き議題に入り昭和五十五年度会務報告並びに同決算報告、監査報告が行なわれ異議無く満場一致にて承認された。引き続き任期満了に伴う役員改選の件に入った。川合会長より小泉朋昭君を次期会長として推薦する旨が述べられ一同異議なく賛成承認された。

小泉新会長は部長人事に入る為休憩を取り、別室にて当日御出席の相談役、並びに幹事と協議し、左記人事を発表、副会長に内田英雄君、押見守康君、議長に八木正明君、総務部長に渡辺和寿君、教養部長に小俣宗昭君、教化部長に中田憲文君、渉外部長に香取邦彦君、広報部長に山崎寛君、事業部長に小野貴嗣君、庶務に伊藤孝夫君、大野二良君、会計に北川憲史君を指名、一同の承任を得た。

五月六日、神社庁に於いて小泉

新会長のもと初の役員会、委員会が開催され、今期活動方針案、今年度事業計画案、同予算案を審議作成に入った。

五月二十七日、同所に於いて臨時総会が開催された。開催に先立ち科学研究所の土田隆氏による「防衛問題をどう考えるか」と題した講演が行なわれ、引き続き次第に則り神殿拝礼、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和、会長挨拶があり、議事に入り今期活動方針、今年度事業計画、同予算について審議、満場一致で承認され、ここに小泉会長のもと新たなスタートを切ることになりました。

又、総会の席に神社庁より鈴木副庁長、今井教化部長、杉本外郭団体部長を始め先輩諸兄の御出席を賜り、なごやかな中にも盛大裡のうちに総会を終了致しました。



東京都神道青年会委員

(順不同)

会長	小泉朋昭(板橋)	教化部	長岡式部(板橋)	池亀紀文(世田谷)	
副会長	内田英雄(練馬)		萩原俊紹(大田)	事業部	小野貴嗣(台東)
副会長	押見守康(文京)		小泉勝俊(品川)	能門坊明彦(荒川)	
			今井 達(墨田)	恵川浩之(目黒)	
議長	八木正明(足立)		山口直英(品川)	山口直英(品川)	
監事	川合玄絃(大田)		細野政治(墨田)	大石定道(品川)	
監事	八木敏夫(北)		桜井重信(江東)	河野元俊(台東)	
監事	大村 忠(大田)		佐伯栄和(千代田)	大野政時(板橋)	
			丸井尊彦(千代田)	市野隆利(台東)	
			松野利行(練馬)	浜中憲生(足立)	
総務部	渡辺和寿(台東)		鈴木有司(板橋)	鈴木昭樹(中央)	
会計	北川憲史(大田)	渉外部	香取邦彦(江東)	小泉勝俊(品川)	
庶務	伊藤孝夫(新宿)		千村義和(台東)	北川繁次(明治神宮)	
庶務	大野二良(品川)		恵川義昭(港)	阿部明德(台東)	
			菊地健一郎(文京)	戸部広徳(葛飾)	
			相談役	滝 実(港)	
教養部	小俣宗昭(杉並)		三笠光敏(港)	高橋範秀(世田谷)	
	村岡賢治(新宿)		鈴木昭樹(中央)	北川正保(大田)	
	松宮兼房(八南)		池田正雄(文京)	大島信史(千代田)	
	矢島輝一(渋谷)		小泉忠久(豊島)	清水 司(文京)	
	小俣国光(杉並)	広報部	山崎 寛(千代田)	蔵重命史(世田谷)	
	高橋忠男(葛飾)		宮廻勇丸(葛飾)	小山 陽(品川)	
	守谷幸夫(新宿)		浜中厚生(足立)	春田知男(墨田)	
	荒井秀樹(江東)		山口直和(品川)	斉藤直孝(新宿)	
	竹内一郎(足立)		長谷川康夫(世田谷)	倉光賢一(足立)	
	小俣 隆(中野)		大島居武司(江東)	日暮英司(荒川)	
	早山 彰(渋谷)		宮崎正敏(千代田)	植栗照之(台東)	
	船田泰次(渋谷)		木村雄一(千代田)	中田昌之(中野)	
教化部	中田憲文(中野)		風山栄雄(新宿)	山内 温(豊島)	

昭和五十六年度
事業計画

○教養部

講演会（総会・新年会）・教養講座（講師平岩先生）・模倣成雅楽講習会

○教化部

青少年教化育成・都氏青協の強化育成と事業への参加協力。
神棚奉斎推進運動・国旗掲揚推進運動

○渉外部

神青協事業への参加協力・神青関東地区総会への参加・神青協総会参加・沖繩学徒慰霊祭参列
友好団体への協力

○広報部

「やくわえ」（年二回発行）
会員名簿の作成

○事業部

研修旅行・ソフトボール大会
ボーリング大会・忘年会懇親旅行・懇親会

神青会へ積極的参加を



会長 小泉朋昭

このたび、栄誉ある会長に御選任頂き、その責務の重大さを痛感する次第であります。

この上は、役員・委員一致団結して、この大任を完うすべく運営に専念する所存です。何卒、会員各兄には、一層の御支援と御協力のもと、心から御願ひ致します。

御承知の如く、昨年の八月三日、本会は、創立以来三十周年を迎えました。東京都神社界の関係各位による御支援を載き、その記念行事が開催されました事は、記憶に新しいところであります。

先輩諸先生による、三十年間に及ぶこの尊い礎を基に、更にこの佳節を契機と致しまして、我々は一層の成果を期し、倍旧の飛躍を心掛けねばなりません。そしてそのためには、さきの総

会で決定されました運動方針に則り、展開される個々の活動が、本会の発展向上に直結するは固より、わが国の興隆に寄与し得る、神道青年固有の運動として、結ばれる事が望ましい、と考える次第であります。

戦後三十年間にわたり、神社界が卒先して行ってきた元号法制度の運動は、先年、見事に結実致しました。言うまでもなく、永年継続して行われている教化事業、あるいは対氏子青少年運動の要は、敬神尊皇綱宣布であり、国民精神の昂揚とその教化であります。

この意味において、わが神道青年会は、相互研鑽の場であり、その情報交換センターであり、先輩諸賢の御指導を仰ぐ場であり、現代社会の活力を自負する青年神主にとって、充分活用し得る素材を整えた道場であると思われまします。

以上、就任に当たり、所感の一端を申し述べ、御挨拶と致しますが、今後、会員諸兄のより一層の奮起と御尽力を希望するものであります。

副会長 内田英雄

四十四年に神青会に入って、早くも十数年過ぎ、当初会合に出た時は戸迷いながら五里霧中で過ぎましたが、暖かい先輩諸兄の御指導のお蔭で大過なく、又、知己の友といふべき人も生まれ、楽しくなりました今日此の頃です。今回、計らずも役員の大役をお引受けし益々新たな心と覚悟を感じるものです。よく、パフォーマンスゲーム「完全試合」という言葉があります。野球で言うなら、一人の走者もださずに勝ちを制することを言い、このゲームを完成する為には、堅実な攻め手も必要ですが、それにもまして必要なのは、味方が絶対にエラーをしないこと、それは容易な事では有りません。私達の言葉に「入紐の一つ心」相和し、研修し、創造し、と有りませ。私達、先輩諸兄の踏みならされた道を歩きながら、又、自身の道を切り開きつつ事業の推進を計り、会の目的達成の為努力し、新しい神青会運動を起こそうではありませんか。そして斯界に一步一歩前進して行きたいと思ひます。皆々様の御協力と御指導をよろしくお願い致します。

副会長 押見守康

この度の役員改選により、小泉朋昭新会長の下で内田副会長と共に二年間副会長をやらせて頂く事に成りました、付きましては会員諸兄の御支援と御教導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。さて、我々神道青年会は、神社界の次代を担う者として、取り組むべき諸問題は事欠かないほど沢山あります。青年神職として常に自己の研鑽に努め斯道の尖兵として、尚一層展開して行かねばならないと思ひます。

それには、会員一人一人が積極的に会の活動に参画し、深い理解と愛情とを持って会員相互の結束をはかって行かなければ何の進歩もないし、現状維持すら出来なくなってしまうのではないのでしょうか、そこで、昨年の三十周年を青年会の心新たにた出発点として、発足当時の初心に立ちかえり実績を積み重ね一歩一歩さらに前進させていこうではありませんか。

議長 八木正昭

この度議長の大任を、お引き受けする事になり、その責務の重さをひしひしと身に感ずる次第であります。なぜならば、今迄諸先輩達の神青会に向けられた熱意 活躍・実績の偉大さを痛切に感じるからなのです。

しかし今では、その任を受けた以上、いかに諸先輩の足跡を汚す事なく務めさせていただく事を誇りにも感じられます、神青会とは何か、又何をやるのか、何の為にあるのかの基本を会員各位が御理解いただき、青年神職としてやらねばならないこの一時を、より多くの会員各位の参加のもとに遂行出来る事が、一番意義深い時だと思えます。神青会を通じ、お互い理解し合い情熱を傾けて見ようではありませんか、本当に腹の底から語り合えるこの混沌とした社会情勢の中に生きる青年神職同士の会、それが、この会の主旨ではなからうか。

さあ皆さんで先輩達が苦勞して築き上げて来たこの会を増々盛り立てて行くには、ありませんか、今後共諸先輩を始め、会員各位の御指導と御協力を深く御願ひ申し上げます。

総務部長 渡辺和寿

都神青会三十五年の歴史を土台に、着実なる活動と、実績を得る為に小泉会長のもと、各部一致協力して、青年会の運営に尽力して行かなければならない。

此の度、はからずも総務部長を仰せつかり、仕事の重大さを、痛感しているこの頃です。

総務として、会計事務全般及諸記録・通信事務を、手落ちなく、且、細心の注意を払い、その業務を、遂行して参ります。

又各部の交流を密にすると同時に、それに対してお手伝いをさせて戴きます。

本年度も、各部それぞれの事業を、計画いたしました。

それぞれの行事に、積極的に、参加する事により、お互いの視野を広めると同時に深めながら、楽しい青年会にして行きたいと思う。委員会の出席率をよくする事も

会の活動を活発にすることもあります。その為には、各部長は勿論、委員同志も、相互に連絡し合う事も大切なことであり、明日の神社界を荷なうべく、青年神職としての自覚と責任を以って、手を取りあいながら進んで、参りましょう。

教養部長 小俣宗昭

ひよんな事から教養部の部長というようなお役を頂戴してしまいました。過去十年近く教養部の部長として名を連ねてはおりませんが、お世辞にも、出席率のよい部員ではありませんでしたし、もとより、そのような器ではない訳ですが、優秀な部員が大勢いてくれますので、その方たちのご協力をいただき、二年間、なんとか私なりにやって行きたいと思えます。

教化部長 中田憲文

襖は例年通り、斎藤・八木両先生の御指導で、御岳山において、七月十七日・十八日の二日にわたる開催致します。年に一度位は、都会の喧噪を離れて、一日の長さを、再確認していただきたいと思えます。雅楽講習会につきましては、今年から練習日が、毎週火曜に変更になりました。三管に加えて、三鼓のご指導も受けております。

趣味として、又大祭へ勤務に行つてヘマをしない為にも、是非一度御参加下さい。

以上、およその予定を述べてみました。が、いくら私共でプランを立てても、参加して下さいる会員がいなければ何なりません。よろしく御協力の程、お願い申し上げます。

さて、私共の事業ですが、(一)総会・新年会の講師依頼、(二)教養講座、(三)襖、(四)雅楽講習会、ということになります。教養講座は、代々木八幡神社の平岩先生に講師をお願いし、「暦の見方」の内「家相について」その他を、なるべく易しくお活躍することになっていきます。

青少年教化育成運動・神棚奉斎推進運動・国旗掲揚推進運動等事業計画を立てて見ましたが、何れも諸先輩方が推し進めてこられた事業の継続という型になります。

青少年教化育成運動では氏子青年会が都内で三十団体にまで延びてまいりました。神棚奉斎推進運動では伊勢神宮の大麻頒布数が過

疎化といわれる都でも増えました。国旗掲揚推進運動では日常でもピルの屋上に日の丸の旗が棚引く姿も目に入るようになりました。これらは先輩諸兄が五年・十年・十五年と初心を忘れる事なく地味ながらに熱意のこもった運動を繰り広げられた成果に他なりません。我々は先輩諸兄によって積み上げられた実績を踏台に一社でも多く神社に氏青を、一軒でも多くの家庭に神棚奉斎を、祝日には一本でも多くの国旗が掲げられる様、背伸びすること無なく着実に運動を展開していく所存で居ります。一人では何一つ突るものではないと思えます力を合せて心の通った活動を起そうではありませんか。

渉外部長 香取邦彦

- 一、神青協事業への協力・参加
 - イ、神青協一都七県総会
 - ロ、神青協総会
 - ハ、沖繩学徒慰霊祭
 - ニ、神青協中央研修会
 - 三、その他友好団体への協力
 - イ、英霊にこたえる会
 - ロ、日本を守る会
 - ハ、北方領土問題
- 以上が渉外部の事業です。つま

りそのほとんどが神青会の全国組織である神青協とのパイプ的役割を果すのが渉外部の役目といえます。神青協又は友好団体から要請があった場合、渉外部内だけではなく絶えず神青会全体で活動して行かなければなりません。そのためには今期活動方針にもある様に一人でも多くの会員の方に自己研鑽に、研修会にと参加して頂き、その経験を神明奉仕に役立てて頂ければと考えております。

事業部長 小野貴嗣

押見前部長は各事業に於て、着実に参加者を増やし、親睦の輪を広げられました。私は一、会員相互の親睦を計ること。一、正会員と賛助会員との繋がりを計ること。

- 一、各事業に積極的参加を得られる道を作ること。を目標に、広げられた輪の絆を太くしてゆくことこそ私の使命だと思っております。
- 又先日、の事業部会で注目すべき意見が出ました。「他部の各事業も神青会の事業であり、我が事業部でも一考すべきである」という意見です。他部との共同企画によって研鑽の場にも事業部が参画して、各部との連携を密にし、親睦

だけにとらわれない部活動を目ざそうというものです。これは事業部だけでなく神青会の課題であると思います。二年間の宿題と心に決しています。ともかくにも本年の事業部は事業の数は少なくとも、又動員があまりかんばしくなくとも、事業部員一人一人が新会員を始め、参加して下さった会員に一声掛けて心と心が通じる活動をしていきたいと思っています。小泉会長の基に於てこそ、この地味な活動を新しい気持ちで始めなければならぬと強く思います。何卒裸の付き合いを切望致しますと共に、御支援御協力の程宜敷く御願致します。

庶務 伊藤孝夫

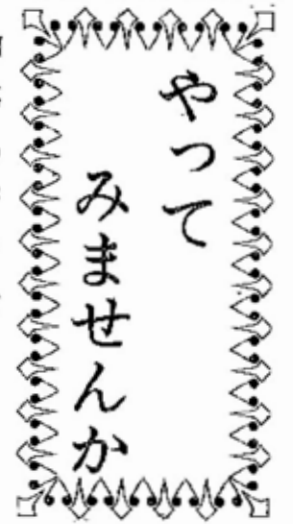
時の経つのは早いもので、何も分らずに庶務を担当し、五里霧中のうちに二年間が過ぎ、どうか、こうにか、皆様の御蔭で大過無く務めることができましたが、今期も無務をお引き受けすることになり、気持を新たにすると共に、前期至らなかつた点を反省し、遺漏無き様に微力ながらお手伝いさせて頂くつもりで御座いますので、宜しく御願致します。

扱て、各部の事業の遂行が神青会活動の基本であり、その原動力となるのが会員一人一人の力であり、結束であるということは云々までもありません。そして其れ其れが、それに積極的に参加し、努力することに依って、神青会をより理解すると同時に、自己修練を行い、人格形成に大いに寄与する場ではないかと考えます。今後、斯界を担っていかねければならぬ我々青年神職が、この様な一時期を過す事に依り、これから先の生活において、何等かの形で役に立つ事と信じております。

精神不在の現在、今こそ我々の若い力を結集し、目的に向って邁進して行くようではありませんか。

会計 北川憲史

会計という大役をお引き受けし、今更乍ら責任の重さを感じて居ります。我々の会も二百七十余名という大所帯、その台所を預かり円滑な収支を図らねばなりません。会員諸兄のご協力を得、無事にこの大役を務め上げる覚悟で居りますし、何卒宜敷く御願致します。



榊等の育て方

サカキ・オガタマノ木は大昔より神前に供え、祭典に用いた神木として崇められてきました。サカキは栄樹の義で、もとは常緑樹の総称でしたが、神代以来一種の木を榊とし神事に用いられるようになりました。オガタマノ木は招霊木とも書き、招霊とは神を招くの意味であり、霊を招く木ともいわれます。今日伝わる神楽鈴はこの招霊木に実が成っている様子が原形となっているそうです。

神事、祭事また記念植樹に用いることの多いこれらの樹を神職自ら育ててみてはいかがかと思ひ、その方法を記します。

○実生から育てる場合

実がよく熟したら木から取り、灰または砂にまぶし、よくつぶす。それを水洗いし、半日陰(木の下でも良い)の所に実が隠れる程度の深さに蒔く。

○挿木する場合

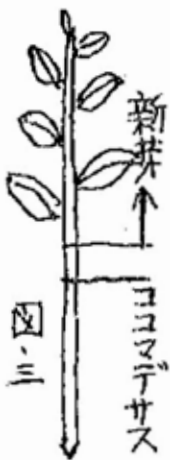
(一)六月の中旬頃、新芽が固まった時期に、前年の葉を四〜五枚付けて切り取る。(図・一)



(二)切り取った枝をさらに、鋭利な刃物で図の様に切る。この時ハサミは不可。(図・二)



(三)二年目の葉を全て取り図の様に仕上げる。(図・三)



(四)挿す場所は半日陰に限る。適当な場所が無い場合は、よしずまたは寒冷紗をかけて半日陰を作ると良い。また挿し床を作っても良い。挿し床の土は赤土(関東ローム)とし、またこの土を用いて団子挿しにしても良い。挿す前にあらかじめ棒で挿し穴を作っておくが、この穴は挿す枝より少し太めにし、挿した後に指等で締める。

(五)挿した後水を充分にかけ、土の表面が少し白く乾いた頃またたっぷりとかける。

これらの樹は側枝を挿すと扇形に成長する性格があるが、ある程度成長すると(数年)通常の形になる。

根付いたならば、霜の時期は(十月頃)霜の降らない場所に移す。これらの樹の移植は六月中旬、もしくは九月中旬頃が良い。

○害虫の駆除方

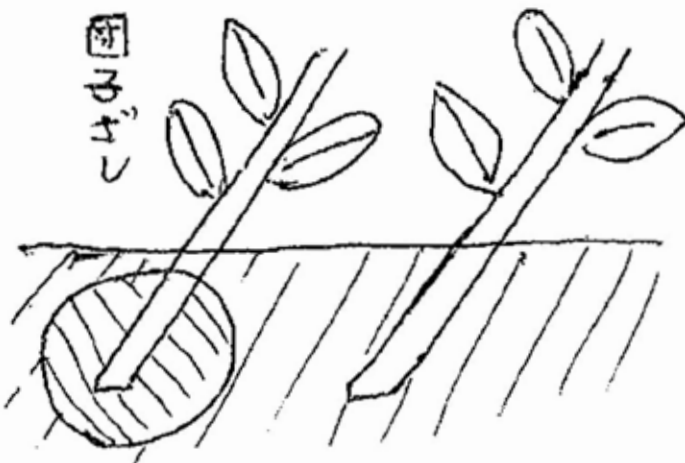
害虫・特にかいがら虫の駆除に有効な時期は五月中旬〜七月中旬にかけて、カルホス乳剤(六百倍から八百倍)またはスミチオンを、二・三回散布する。またこのカルホス乳剤は他の害虫にも有効です。

これらの樹は半日陰の所によく育つ種類の樹です。気長に育てれば、神事・祭事に必要な時に常に形の良い新鮮な枝が使用できることになるばかりでなく、境内緑化につながることもなると思ひます。

(世田谷区水川神社宮司野沢紀充氏に御指導頂きました)

注・これらの樹は温暖な気候の土地で生育する種類の樹ですので、北限を越えては育生できません。

追・四を図示します。



世田谷・長谷川

お知らせ

教養部より

楔 鍊 成 講 習 会

七月十七日(金)・十八日(土)の両日
武州御岳山に於いて楔鍊成講習会
を開催致します。道彦に齊藤成徳
助彦に八木光昭両先生を御願ひ致
しました。是非御参加を!

雅 楽 講 習 会

毎週火曜日神社庁に於いて雅楽
講習会を開催しております。三管
三鼓の御指導を頂いて居ります。
初心者歓迎、趣味のある方は一度
見学旁々いらっしやいませんか。

教 養 講 座 開 講

毎月神社庁に於いて代々木八幡
神社宮司平岩満雄先生を講師にお
願ひし、曆・家相についての講座
を開講致して居ります。青年神職
の教養の一端として身につけませ
んか。



事業部より

親善ソフトボール大会開催

来る七月三十日(金) 神青会の恒
例行事になりました親善ソフトボ
ール大会を開催致します。

会員はもとより、神職子弟の参
加も可、ご家族そろって応援旁々
真夏の太陽の下で、楽しい一日を
過ごしませんか。

場所 明治神宮外苑野球場
会費 一名 一、〇〇〇円

神道人野球大会 開催

七月二十三日(木) 明治神宮外苑
野球場に於いて、神道人野球大会
が開催されます。
仲間の奮戦を期し、是非応援を!

東神ドライブクラブ・東神ゴル
フクラブを御存知ですか。

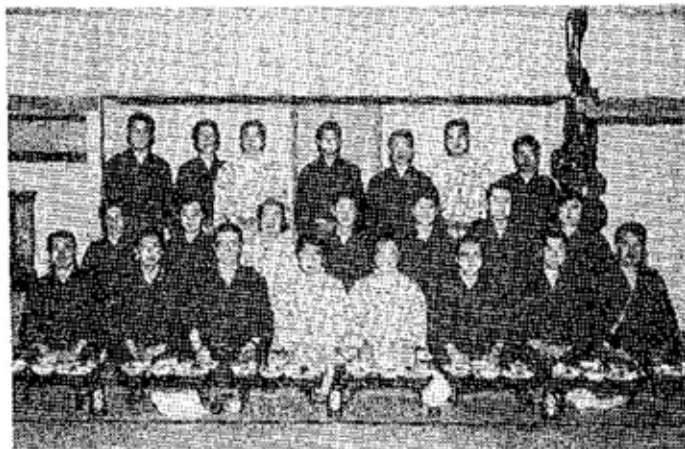
同好の志が集って、親睦を深めて
います。



活動状況

◇ 四月二十日・二十一日

熱海・大野屋に於いて前、川合会
長のもの役員解散に伴う懇親
会が行なわれ、北川先輩、川合
前会長より役員、委員に二年間
の労をねぎらう挨拶の後、和気
合々の中楽しい一時を過ごし
た。



◇ 五月十九日

神社本庁創立三十五周年記念式
典が明治神宮会館で挙行された。
神青会より十二名が接待等の係
をお手伝いにてた。

◇ 五月二十日

「靖国神社公式参拝実現総決起
大会」が、英霊にこたえる会主
催で日比谷公会堂に於いて開催
され神青会より五名が参加した。
桜内幹事長を始めとし国会議員
百余名の参加を得た大会で盛大
裡の中に幕を閉じた。

◇ 五月二十八日・二十九日

神青協関東地区総会開かる。
栃木県神社庁に於いて開催され
都神青会より六名が出席。

宇都宮駅前ニューイタヤホテル
に於いて懇親会が催され、なご
やかな中にも有意義な一時を過
ごし一層の親睦を深める事が出
来ました。

編集後記

五月末より六月初旬と社務一段
と御多端の折にも拘わらず早速に
原稿お送り頂きありがとうございます。
ました。

昭和五十六年六月十五日
東京都神道青年会
東京都港区元赤坂二―二―三
東京都神社庁内
電話 四〇四―六五二五(代)